



## 開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第71号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2012年7月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

### 日本ユネスコ協会連盟 評議員会

2012年5月26日、日本ユネスコ協会連盟主催の評議員会が開催されました。開倫ユネスコ協会より、高尾敏彦顧問が参加し、日本ユネスコ協会連盟の野口理事長へ第13回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会などで集まった募金を寄付させていただきました。皆様からのご協力ありがとうございました。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。



評議員会



日本ユネスコ協会連盟 野口理事長 開倫ユネスコ協会 高尾敏彦顧問

### 第7回全国模擬授業大会・国際大会

開倫研究所主催「第7回全国模擬授業大会・国際大会」が開催されました。「チョーク一本で教育改革を」を基本テーマに掲げ、全国各地の学習塾や予備校、公・私立学校などから、授業者60名および審査員37名を含む約350名のご参加を賜り、大変意義深い大会となりましたことを心よりお礼申し上げます。

大会に先立ち、5月26日(土)、プレイベントを開催致しました。第1部では「教える力、教務力とは何か」をテーマに、野田塾 小川英範塾長、誉田進学塾 清水貫代表、木村塾 木村吉宏塾長による講演会が開催されました。示唆に富む講演内容で、参加者の方々が今後参考になる事例を発表していただきました。第2部では、韓国から来日された、韓日教育文化協議会 安長江会長による韓国の教育に関する講演と、SEOUL 昌文女子高等学校の2名の先生による素晴らしい英語での授業が行われました。

5月27日、「第7回全国模擬授業大会・国際大会」の予選と本選が行われました。15分の持ち時間の中で、新しい学習事項の「導入部分」(いわば核心部分)について「理解」させる、つまり「わかりやすく」「うん、なるほど」と「腑(ふ)に落ちる」ように指導することを競うもので、年々出場者が増え、それに伴い本年は更にレベルも高くなり、昨年以上に白熱した授業が展開されました。

本大会の後援団体、開倫ユネスコ協会への募金にご協力いただき、ありがとうございます。皆様の心温まる真心に感謝申し上げます。今回お預かりした募金を、東日本大震災で被災された方々へ、日本ユネスコ協会連盟を通じて寄付させていただきます。



第7回全国模擬授業大会・国際大会 受賞者の皆様

韓国の先生

## 大船渡ユネスコ協会 被爆アオギリ2世植樹式

2012年6月23日、大船渡市のリアスホールで大船渡ユネスコ協会による「被爆アオギリ2世」の植樹が行われました。出席された皆様は、原爆に耐えたアオギリの種から育てられた苗を植え、そのたくましい生命力や平和の大切さを訴える姿を、津波からの復興シンボルと位置付け、大切に育てていくことを誓いました。

大船渡での植樹は昨年秋、開倫ユネスコ協会創立10周年記念式典に、前会長の佐々木仁也さんの代理で山口会長が出席し、「被爆アオギリ2世」の取り組みを知り、「たくましい生命力を大船渡市民にも知らせよう」と、開倫ユネスコ協会を通じて広島市に苗木の申し込みを行いました。

晴天のもと行われた植樹式には、協会員や来賓、市民など約50人が参加、山口会長は「大船渡または気仙復興のシンボルとして、平和を願いながら成長を見守っていきたい」とあいさつ。今野洋二教育長が戸田公明市長の祝辞を代読し、松井一實広島市長の「大船渡市の復興のシンボルとして市民の手で守り、育ててください」とするメッセージも披露されました。被爆アオギリ2世の苗は高さ50センチほどで、参加者たちがスコップを手に敷地入り口付近に丁寧に植えました。

開倫ユネスコ協会からは高尾初江事務局長が参加、まちだ・さがみユネスコ協会名誉会長の野々村日出子さんも出席しました。高尾事務局長は大豆生田実足利市長らのメッセージを届け、野々村さんは「復活の祈りをこめて広島の青桐植うる大船渡人(ひと)」とした歌を贈りました。



大船渡ユネスコ協会山口会長



野々村日出子さん



高尾事務局長



被爆アオギリ2世